

既に家具が備え付けられた本物件室内



⑥ 意見

単身赴任する地方事務所長が増えている現状や、家族で赴任する職員のため世帯用宿舎が別途用意されていることを鑑みると、集合住宅に比べて管理の大変な当宿舎が将来利用される可能性は少ない。前述した、職員宿舎の今後のあり方の検討を早期に実施し、現在、長期未利用となっている宿舎についても、その用途について結論を出す必要がある。

(14) 中信地区－松本地区職員宿舎予定地

① 区分

調査依頼土地（建物のない敷地）

② 財産管理者

職員課

③ 財産の所在地

松本市島内 1913

④財産の概要

土 地					
地目 (公簿)	地目 (現況)	面積 (㎡)	現在評価額 (H18 評価替) (千円)	取得時期 及び由来等	土地のみの 取得価格 (千円)
宅地	宅地	2,021.3	38,995	H9.9.16	12,790

⑤ 主な用地取得その他の経緯

H7. 旧松本家畜保健衛生所跡地について、関係部局等協議のうえ、本地区職員宿舎建設用地として活用することとなる。

【当初計画】

平成12年度完成

鉄筋コンクリート3階（1部4階建）

世帯用 3LDK(3階)9戸 単身用 1K(4階)12戸

H9.6～8. 旧松本家畜保健衛生所建物を解体。

H9. 畜産課から所管換

H11. 財政逼迫により新規建設凍結

H15.2 財政改革推進プログラム推進期間中(H14～H18)は施設着工凍結

H19. 再度建設の可能性検討

H20. H21 予算編成方針の中で「職員住宅に新規建設は既に凍結」と改めて示される。

H21. 松本地方事務所と協議

今後、管財課へ未利用土地として引き継ぐ方向を確認



⑥ 意見

職員宿舎の建設を計画していたが、県財政の逼迫により建設が凍結されたため、未利用となっている。前述した、職員宿舎の今後のあり方の検討を早期に実施し、現在、職員宿舎予定地として保有する土地についても、その用途について結論を出す必要がある。

(15) 中信地区－和田西原団地（松本市）

① 概要

和田西原住宅団地は、松本電鉄上高地線三溝駅から 500 メートルに位置し、平成 18 年度に 313 区画 116,338 ㎡を造成し分譲を開始したが、平成 21 年 3 月末現在 132 区画 37,984 ㎡が売れ残っている。

住宅団地から上高地線三溝駅まで 0.5 km、三溝駅から松本駅までの運行時間は 17 分で 1 時間に 1 本～2 本である。また、住宅団地から松本駅まで 8 km と市内中心部までの交通の便は良い。

図 8 本物件所在地



(住宅供給公社提供)

当初、住宅供給公社では、人口の増加の動向等から需要予測を行っており、100 区画程度の分譲が妥当であると判断していた。しかし、地元松本市の要請により 313 区画の造成となった。

なお、平成 21 年 12 月 18 日の信濃毎日新聞において、松本市が売れ残った区画を買い取ることを松本市議会経済環境委員会への報告で明らかにされている。